

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立なかとみ青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	南巨摩郡身延町平須306	設置年月日 (改築年月日等)	昭和62年6月
管理方式	指定管理者(身延町、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊棟:宿泊室(28人)×1、宿泊室(24人)×3、リーダー室(2人)×4、 食堂(108人)、談話室(15人) キャンプ場:炊事場、バンガロー2棟、スペースキャビン5棟、テントサイト13カ所		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用の承認に関する業務 ○ 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○ 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○ 地域における生活文化の経験学習に関する業務 ○ 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○ 野外活動及びレクリエーションに関する業務 ○ その他教育委員会が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 身延町立陶芸工房(定員60名)、和紙工房(定員50人)、体育館(505㎡) (2) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:H23 利用人数9,431人
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	本館宿泊利用	6,810	6,980	6,448	
	キャンプ場宿泊利用	626	634	748	
	日帰り利用	1,200	1,130	1,184	
	利用者数合計	8,636	8,744	8,380	
	目標値	8,300	8,700	8,000	8,500
	目標値設定の考え方	これまで漸減的に推移してきたことから、減少を食い止めることを目標とした(平成16年度と同程度)	過去2年の実績が増加傾向にあることから、前年度実績を上回る数値を目標とした	過去実績から、震災・計画停電による4月以降キャンセル分を勘案し調整	前年度が震災等の影響を受け利用者が離れてしまったので、再度PR活動を行い震災前の利用者数に近づけていくことを目標値とした。
	対21年度比	100.0%	101.3%	97.0%	0.0%
	稼働率	43.8%	51.0%	42.6%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	20,799,000	29,148,000	29,148,000	29,292,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	20,799,000	29,148,000	29,148,000	29,292,000
支出	人件費	5,560,000	14,389,000	13,938,000	14,808,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	15,239,000	14,759,000	15,210,000	14,484,000
	(うち外部委託費)(B)	7,011,000	6,931,000	6,656,000	6,940,000
	支出合計(C)	20,799,000	29,148,000	29,148,000	29,292,000
収支差額(A-C)		0	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		33.7%	23.8%	22.8%	23.7%
利用者一人当たりの経費		2,391	3,644	3,429	3,446

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月～24年3月、実施方法:県立なかとみ青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数:51団体
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用料金	94.0%	0.0%	4.0%	2.0%
②申し込み方法	90.0%	0.0%	4.0%	6.0%
③設備・備品の状況	76.0%	0.0%	4.0%	20.0%
④活動内容	84.0%	8.0%	0.0%	8.0%
⑤施設利用全般の満足度	88.0%	4.0%	0.0%	8.0%
⑥食堂の食事について	69.0%	12.0%	2.0%	17.0%
各項目の平均	83.5%	4.0%	2.3%	10.2%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	・地元の方との交流が大変好評で、子供たちも大喜びだった。 ・メインとなる体験活動があってもいいのではないかと。
利用者の意見への対応	・現在21のプログラム(陶芸・和紙づくり・ほうとうづくり等)を提供しているが、更に研究企画し、新プログラムを開発していく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設利用者が安全かつ快適に利用できるように常に点検を行い、必要に応じて修繕等を行った。食堂業務については、アレルギー対応を含め、利用者の要望に可能な限り応じるよう努めた。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施され、年数が経ってきているが、きれいに管理されている。
運営業務	日常では体験できない自然体験・生活体験・交流体験・創造体験・郷土食体験等を行えるよう、利用者への指導や支援及び食事の提供を行った。	現在も様々なプログラムを提供しているが、新プログラム開発に力を入れるなど積極的な運営を行って欲しい。
自主事業		
利用状況	3月の震災の影響で大きな団体のキャンセルがあった。この団体が利用していれば昨年度を大幅に上回ることができた。年間を通して見ると宿泊棟利用は団体、利用者数とも前年度より減少した。反面キャンプ場は宿泊日数が増えたことにより利用者数がまた、日帰り利用は県内の団体、利用者数が増え全体を押し上げた。常にホームページの更新を行っており主催事業においても県外からの参加者が多かった。	東日本大震災の影響により、キャンセルもあったものの、広報活動等の努力により夏場以降多くの利用があった。今後も、県内外の広報活動に努め、利用者の確保を図ること。
収支状況	飲料水取水施設が台風被害により修繕、受水槽修繕、冬季間の異常低温によるボイラー循環ポンプの漏水修繕等緊急の修繕経費が今年も多かった。光熱費は節電を行い減少した。全体的に計画通り執行することができた。	経費節減の努力を行っており、概ね計画どおりの支出状況となった。
利用者満足度	施設までのアクセスについて、道路が狭い等改善を望む声が33%に上る。しかし、「施設全般において満足か」の設問では88%が「満足」「やや満足」と回答している。今後も気持ちよく利用頂けるよう、全職員で努力していく。	利用者満足度については、上がってきているので、今後も利用者の意見を参考にしながら質の高いサービス提供を目指して欲しい。
運営目標の達成状況	<p>○H23 利用者数目標値 8,000 実績 8,380</p> <p>○H23 主催事業参加者数目標値 430 実績265</p> <p>○利用者数は、東日本大震災の影響を受けたキャンセル等あったが、夏場の利用が伸びたため計画を上回る実績となった。</p> <p>○主催事業参加者数は、震災直後の参加者が大きく落ち込んだこと等もあり、目標値に達しなかった。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>経年劣化による施設の老朽化はあるが、施設内外はよく整備をされていた。今年度は、東日本大震災による影響という特殊な状況もあり、利用者が減ってしまった部分がある。広報活動を再度見直し、工夫することなどで利用者数の増加を図ること。</p> <p>また、主催事業については、参加者からのアンケート等を基にニーズにあった事業展開を行っていく必要があるといえる。</p> <p>利用者の安全面については、引き続き注意をはらうこと。</p>	

施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	施設内外の環境整備については注意を払い利用者に気持ち良く使っていただけるよう鋭意努力をしている。東日本大震災の影響でH元年度から利用しているフランス人学校が来なくなったのは非常に残念なことである。主催事業は特色を考慮しつつ取舍選択をし新鮮なものを取り入れながら実施してきた。地震火事等の利用者の安全面については消防署と合同の防災訓練を11月に実施し防災意識の徹底を図った。
--------------------------	--

7. 管理体制(組織図)

